

## 【津ノ井地区公民館】

### しめ縄飾りづくり

#### 【目的】

近年、子ども達が地域の良さや伝統を知る機会が減少してきている中、ここ津ノ井地区は、豊かな自然と古くからの伝統行事が残っている地域です。元気な高齢者の方も多く、高齢者と小学生等の交流やふれあいを深め、文化の継承とものづくりの楽しさの体験を通して、豊かな人間関係を育てることを目的としました。

#### 【事業概要】

12月13日(日) 10時～12時 場所：地区体育館

講師：老人クラブの皆さん 対象者：地区子ども会、地区住民

子ども達が自分で作った「しめ縄飾り」で新年を迎えようと、老人クラブの方々から由来と地域に伝わるしめ縄づくりを教わりました。前日までに、準備のわら打ち等を老人クラブの皆さんを初め地区の方々にお手伝いいただきました。当日子ども達は、慣れない作業に苦労しながら見様見真似でわらをない、熱心に取り組んで「めがね飾り」を作りました。また、紙垂を半紙で作し、最後にウラジロ、ユズリハなどを飾り付け完成しました。各自が家庭に持ち帰り飾られました。

#### 【成果】

参加者45名(子ども25名、大人20名)

子ども達は、講師の方の指導を熱心に聞き作業に真剣に取り組んでいました。また、友達同士で教え合ったり見せ合ったりと、子ども同士のつながりが実感でき、手伝ってあげる思いやりや協調性、更には達成感も得られたと思います。この行事によって子ども達は、学校や家庭以外の人から学ぶ機会を得ることにより貴重な体験になったことと思います。

#### 【所見】

講師の方々の高齢化、わらなどの材料調達の難しさなど課題はありますが、こうした地区に伝わる伝統行事を地域の方々と公民館が一体となって、子ども達に伝えていきたいと思っています。



【わらをなつて始まりです】



【紙垂の作り方の説明】